

結婚披露宴改善でやゝ前進

私たちの暮しの中で必要な人間関係、「冠婚葬祭」が最近では派手になったり、無駄が出たり、形式に流れ本質が見失なわれている現在を見つめなおし正そうと、社会教育課と社会福祉協議会の呼びかけ

老人学園長・副園長二名
婦人会長・副会長二名
農協婦人部長・副二名
青年会長・副会長・睦会
委員長・副二名・竜丘小
PTA会長・緑中PTA主

項は

一、記念品（引出物）は廃止する
二、ご祝儀は三千円程度とする
この二項目が確認され原則として四月一日より実施されることとなりました。

童丘地区では、地区アンケート調査の集計が検討され、推進委員会で討議がされています。

童丘地区生活改善推進委員会は〔会長〕自治協議長
〔副会長〕公民館長・自治協副会長
長

〔委員〕各区长・各分館長・公民館文化委員長・副委員長

童丘地区生活改善についてのアンケートの結果と、結婚披露宴の当事者である青年会員の考え方を一月十四日童丘図書館に集まってもらい意向調査を行った結果を対比して報告します。（当日は二十才から二十六才までの男子のみです。回答によります）

一、会場はどこが良いか
イ 公共施設が良い

	地区六〇・六%
青年三七・五%	
地区二九・六%	
青年五〇・〇%	
地区二%	
青年五・五%	
(無回答)	

二、わからない

地区六・八%	
青年七%	

青年たちはアンケート調査に行
くまで問題意識がなかったと思わ
れた。

二、祝儀について（地区調査）

イ会費制がよい 三二・九％
ロ金額を市又は地区で統一した
方がよい 三九・八％
ハ自由でよい 二三・五％
ニその他（無回答） 三・八％

二、祝儀の統一について（青年）

イ賛成とする 三七・五％
ロ反対する 〇％
ハ自由である 二五・〇％
ニわからない 三七・五％

祝儀の位置付けで、すい分個人差
が出ている事と、四人に一人が自
由で良いと答えている点に注目し

折披露すれば良い五三・三三
八当日招待する 一〇・七%
二翌日招待する 一〇・七%
ホその他(無回答) 六・三%
青年達は今のままで良いのだけ
ないか、合理的にすべきだの意見
が出た。

五、色直しについて(地区調査)
イお色直しはやらな
ロお色直しはやらす訪問着が洋
服にする 六〇・〇%
ハ従来通り 一〇・九%
ニその他(無回答) 二二・七%
答

燃える

元	今このままで良い	一二・五%	以上の結果から市の申し合せ事
元	口問題がある	七五・〇%	項完全実施には時間が必要のよう
元	はわからない	一二・五%	に思われます。竜丘地区の生活改
元	お金を持ってくさかなくや引		善推進委員が関係団体に持ち帰り
元	出物々を交換に行くようなもの		実質討議が必要ではないでしうよう
元	だ。		か。委員の奮闘に期待し、各家庭
元	自分達の第二の人生のスタート		においても自分の生活を考え直し
元	の結婚に呼びたい友人を呼ぶこと		てみたいものです。
元	が出来ない。等意見が出された。		(尚この調査は青年会の出席者
元	又友人の結婚式でも現在は五千元		が少なく、全青年の意図でない点
元	以上持つて行くので呼ばれてこま		を報告しておきます。)
元	昔からの行事、祭り等が途絶え		の、二つの形に分けられる。
元	て久しいが、最近人間性の復活が		P.T.Aを中心に行なっている所
元	と呼ばれ、デイスカバ・ジャンの		は、冬休み前に小学生の部落友の
元	キャッチフレーズが流行するに及		会で、おん火を計画し、これにP
元	んで、これから祭り、行事が見直		T.A校外指導部が全面的に応援す
元	されるようになり、各地で復活の		の形が上っているが、実験はこま

写 真 は 上 川 路 (金 山) の お ん 火

人に移っていった。
 空のな。
 常会等で行な
 要らな。
 TA、寺下は有志
 下平は商工会
 復活し、今年
 区と違つて
 時又では
 五年前に竜江
 区と違つて

若かりの行事 祭り等が途絶えて久しいが、最近人間性の復活が叫ばれ、デイスカバージュジャンのキャッチフレーズが流行するに及んで、これら祭り、行事が見直おされるようになり、各地で復活の声を聞くようになった。

おん火もその例にもれず、昭和三十二、三年頃を最後に途絶えていたが、五年程前から一部の部落で復活され、今年は竜丘で16の部落（地域）で一月七日の早朝盛大に行なわれた。

途絶える以前のおん火は、子供達にとって冬休みの一番楽しい行事として、盛んに行なわれていたが、門松の乱伐に加え、当時の新生活運動による、印刷された門松が各戸に配布されるに及んで、おん火の松送りの意味がなくなり、

の、二つの形に分けられ、PTAを中心に行なっている所は、冬休みに小学生の部落友の会で、おん火を計画し、これにPTA校外指導部が全面的に応援する形がとれているが、実際には、大人が松を切ることから竹の手配、巻き立て迄殆んどやり、子供達に飾り付けをする 程度となつてい

る。これは小学生のみを対称としていふこともよるが、廃止前のように中学生も加わって、子供達だけで行なわれていたおん火

比べると、主役が大人に移つていく傾向にあることは否めない。これは、公民館、常会等で行なわれている所も事情は変らない。

おん

「新川（安城垣外）」は今年復
活。PTAのお母さんを中心に常
会の協力を得て、一日早い六日早
朝行なわれた。

桐林では
小学生部落友の会単位で行なわ
れ、「南、久保田、中央」の3常
会は教員住宅横の辻で、「上北、
古瀬、久保尻」の3常会は前の原
の構造改善工事中の畑で、「安城
小池」は、古池田甫の辻と3ヶ所
で行なわれ、いずれもPTA
が中心となつて、他よりも早く一
月三日に飾りつけを行なつた。大

平」の各部落はそれぞれ一ヶ所、
今年始めて復活した新井原では二
ヶ所と計六ヶ所で五時半から七時
頃まで行なわれた。特に「下平」
では花火を打ち上げ、点火の合
図を行つて等、それぞれに盛大であ
る。長野原では、各戸の門松を区で
用意し、その
代りとして寄
附を集めてい
ることが他地
区と違つてゐる。

火はだれのもの

おん火を中心になつて準備した
のは、北平、南平、新井原ではP
TA、寺下は有志、下平は商工会
復活し、今年は三ヶ所で行なわれ
る。時又では
五年前に竜丘のトップを切つて
行なわれた。

写真は上

なりか、各方面の働きかけがなされたが進展がなく、一昨年の案についてもこのままでは公民員もあり、又、竜峽地区の市議会議員に再度公民館建設促進委員会が館結成式も出来ないのと再度検討組織された、実現に向つて運動が展開された。

市に対しては、現在の建物の老朽と、竜丘にも社会教育の場をと強く要求し、地元として、あらゆる受入体制を整へていくことを仰ぐ加えて陳情した結果、早速竜丘に公民館の建設が必要であると回答を得、五十年度の着工がはじかたが確認された。

続いて十日に各種団体の役員を含めた財大推進委員会が四名の出席を得て開催され、市の案となに一生懸命陳情しても若し駄目だったら今とは違うというのでした。然し今は晴々とした気持ちです。地区の皆様のご協力を感謝します。今後共格段のご協力をお願い致します。

それが五年前時又と何人かの人々が先に立ち、「子供達のためにおん火は残し伝えたいことと、自分の子供の頃の楽しかった思い出としての郷愁もあって」おん火保存会を結成し、おん火が復活され今日の状態になった。

現在はPTAを中心にこなっている所、公民館（分館）有志、常会等が中心になり行なっている所であるし、今後も努力を必要とするが、おん火本来の意義と姿を見失つこのないような努力も必要であろう。

いすれにしても「主役は子供」を忘れてはいけないであろう。おん火を各部落毎に紹介すると駄科では「北平」「南平」「寺下」「下

とすれども大人であった。 今年再開した新井原のある人は「今年子供も少ない」という事で再開が遅れていたが、他地区に影響されたことで、子供達の願ひもあって復活したが、子供達も喜んでいたので来年以降も続けたい」と話していた。	「時又銀行前支所附近、中央」は、例年元旦年団の有志により行われていたが、今年は先に立つ人がなく、前日の夜になって見かねた何人かにより松飾りが集められそれを焼くに止まった。	人の都合によって、従来の習慣が変わっていることが淋しい。
長野原は 四年前に復活され、公民館が主催し、PTAの協力を得て行な	「八常会」は、常会が中心になつて行なわれ、花火の盒図で点火	上川路では 「中央」は吉川薬フランド横で、「金沢」町並は久米川端で「宮の前」は笹岡さん宅前川の辻とろろ所で行なわれ、やはり他地区同様PTAが中心となつて行な
された。昨年迄出されたお酒は、今年から中止された。	われた。ここでも昔のおん火を懐	（おん火の昔、参照）



写真は上川路(金山)のおん火

